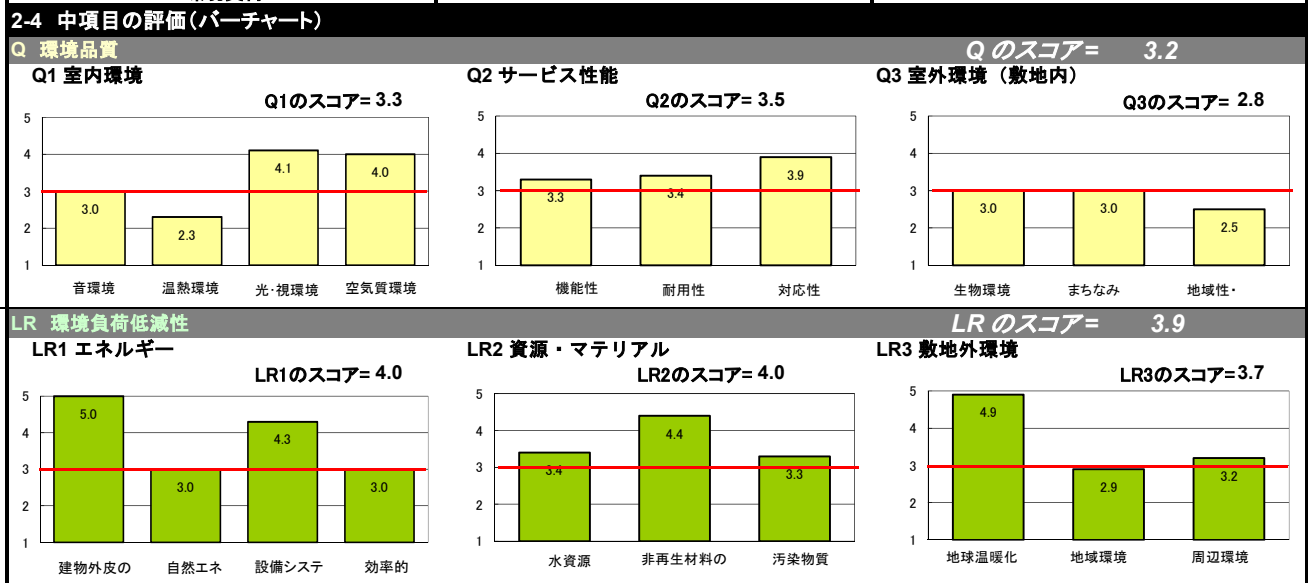
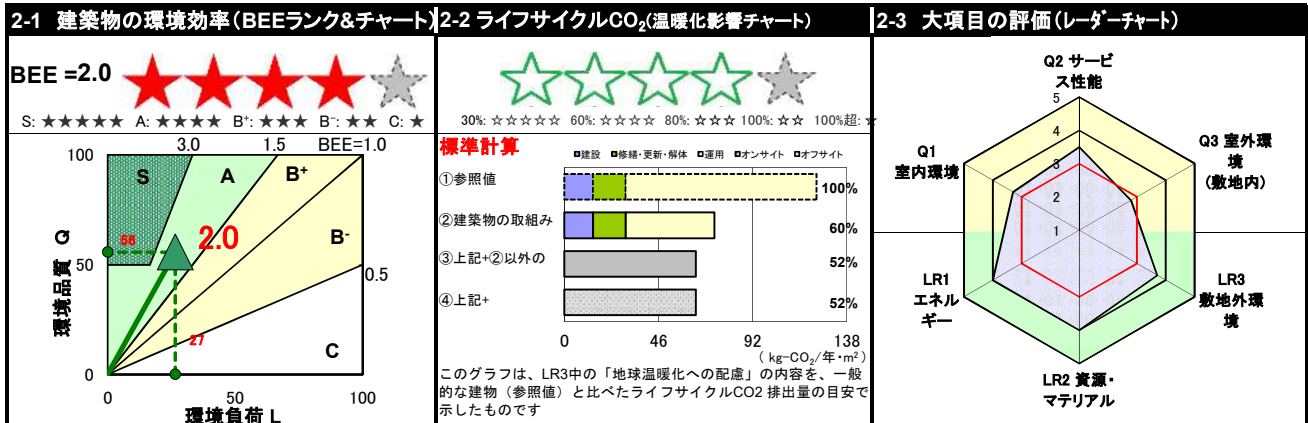


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	いすゞ自動車藤沢工場開発実験棟新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県藤沢市土棚8番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	40~80 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	7,550 m <sup>2</sup>	作成者	五洋建設株式会社 本社一級建築士事務所
建築面積	5,865 m <sup>2</sup>	確認日	2024年7月1日
延床面積	27,408 m <sup>2</sup>	確認者	五洋建設株式会社 本社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他
Q1 室内環境	・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	
LR3 敷地外環境	・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される